

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0193600194		
法人名	株式会社アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり新中野 はすかつぶ館		
所在地	苫小牧市新中野町1丁目3番20号		
自己評価作成日	平成28年3月10日	評価結果市町村受理日	平成28年4月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigyosyoCd=0193600194-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様と職員の会話も多く、「笑顔の絶えない明るく家庭的なホーム」作りを心掛けている。併設した小規模多機能居宅介護との交流、季節ごとの行事、近隣公園への散歩、買い物、外食、地域のお祭りへの参加等利用者様の希望に添った支援ができるよう、ご家族様、ボランティア地域の方々の協力を頂き毎日元気に笑顔のある生活を送ることができるよう努力している。運営推進会議も小規模多機能事業所と合同で実施しているため、単体で行うより活発な意見交換が行われている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

苫小牧市郊外の住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。同一法人の小規模多機能事業所が併設している。建物は清潔で、玄関や食堂、居間などの共用空間が広く、窓も大きくて快適である。トイレや浴室が広く使いやすいと造られ、1階のお風呂は天然温泉である。午前、午後にレクリエーションの時間を設け、歌やゲーム、お菓子作りなどで楽しみ、利用者が生き生きとしている。食事の会話も多く、食事のペースも利用者のスピードに合わせている。運営推進会議で市や地域包括支援センターから情報提供を受けたり、市の認知症サポーター養成講座に協力するなど、市との協力関係が築かれている。法人の支援のもと、各種のマニュアルや書式、研修体制が整っており、職員と管理者の面談やスキルアップの相談も行っている。ユニット会議での活発な意見交換や月ごとに通信作成や行事、物品管理などの業務を職員が交代して担当するなど、職員が積極的に運営に参加している。ケアマネジメントの面では、センター方式のアセスメントシートを作成し、定期的な見直しにより利用者情報の充実を図っている。医療支援の面では、往診や通院の体制を整え、常勤の看護師が健康管理を行い、利用者や家族の安心に繋げている。入浴や外出の面でも利用者の希望を聞き、楽しく行えるようにしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を事務所、リビングに掲示し常に意識できる環境に努め、会議の折にも理念にふれ、サービスの向上に努めている。	事業所独自の理念の中で「地域のぬくもりの中で、いつも元気に笑顔のある生活を支援し続けます」という文言を入れ、地域密着型サービスの理念として確立している。理念を事務所に掲示したり、会議で唱和して共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入、地域のお祭り等に参加、町内会からもホームのお祭り、防災訓練等に協力して頂き、交流を図っている。	町内会に加入し、地域のお祭りに利用者と一緒に参加している。事業所の行事では地域の方を招いてバーベキューを行っている。歌や楽器のボランティアの訪問も受けている。一方、子供達との交流はまだ実現できていない。	地域の保育園や幼稚園、小学校などと交流する機会が増えるよう、継続的な働きかけを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等でホームとしての取り組みの状況や日常の様子を報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度会議を開催、市職員、地域包括支援センター、町内会、ご家族様に参加頂いている。ホームの活動状況、事故報告等を行い、意見を頂きながらサービスの向上に努めている。	2ヵ月毎に運営推進会議を開催し、市や地域包括支援センターの職員、町内会副会長、民生委員、利用者家族が参加し、防災や認知症カフェ、介護保険制度、外部評価などをテーマに意見交換している。議事録を全家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的な生活支援課の面談のほか、介護福祉課へは運営に関しての相談を随時行っている。2ヶ月に1度の運営推進会議にも出席して頂き、行政の立場から制度の説明をして頂くなど、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に市や地域包括支援センター職員の参加があり情報提供を受けている。市役所が近いので相談事があれば出向いている。同一法人の小規模多機能事業所が認知症サポーター研修を開催する際に協力している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関の鍵は開錠している。また個々の状況に応じ、安全、安心に過ごすことができるよう生活環境の整備や見守りの強化で危険の防止に努め、拘束をしないケアに取り組んでいる。	禁止の対象となる具体的な行為を記した身体拘束に関するマニュアルが整備されており、年1回程度勉強会を行っている。玄関の鍵は施錠せず、ボタン式の自動ドアで自由に入出りできる。事務所から玄関が見えるため外出を見守りしやすい配置となっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等にも参加、会議の場にて意見交換、情報の共有を行い、虐待が見過ごされることのないよう取り組んでいる。		

グループホーム みのり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について、必要性のある利用者様へ活用できるよう勉強の機会を設ける。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には利用契約書、重要事項説明書を読み上げ、十分に説明し理解、納得を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱設置のほか、運営推進会議で意見を頂いている。また、面会時に要望等お聞きするよう努めている。	家族の来訪が多く、その際や運営推進会議で意見を聞いている。意見などは利用者ごとの連絡ノートに記載して共有している。本社から家族にアンケートが送付され、結果を運営に反映している。また、毎月「みのり通信」を発行している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	連絡ノートの活用、毎月のユニット会議で意見交換を行っている。年に2回管理者と職員の面談を実施、意見、提案を聞く機会を設けている。事業所の意見は本社会議にて吸い上げるようにしている。	毎月1回ユニットごとの会議が開催され、活発に意見交換している。年2回、管理者と職員の面談を行い、スキルアップなどについて話し合っている。職員は行事や通信、物品管理、給食などの役割を交替して担当し運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況、努力や実績を把握し、向上心を持って働けるよう支援している。資格取得支援制度も設けている。処遇改善加算Ⅰの取得にて適切に賃金改善に当てている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での管理者研修、定期的なスタッフ研修の他、資格取得支援制度も設けている。また法人外での研修通知を回覧し研修を受ける機会の確保、自主希望による受講を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外の研修や市のグループホーム連絡会の研修に参加し、交流の機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様の情報を基に生活歴の把握に努め、利用者様の要望をケアに反映できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始までの間にそれまでの経緯や不安、要望について話を聴く機会を設け話しやすい関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、ご本人様、ご家族様の状況を把握し意向を確認しながら適切な支援を提供できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々人のできること、支援があればできることを見極め、入居者様と職員が共に支え合う関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事、運営推進議の呼びかけや面会時、電話、通信でホームの様子をお伝えし、共に支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人が気軽に面会に来て頂けるよう、ご家族にも協力頂き支援に努めている。	5～6名の利用者に友人や知人が来訪しており、職員が利用者を知人宅に送迎することもある。友人に手紙を出す際は宛名書きなどを手伝っている。利用者が住んでいた場所やその近くのスーパーに行くこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を見極めながら、孤立することがないように配慮している。時には職員が介入し支え合える関係を築けるよう支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつぶ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談、協力の意思をご家族様へお伝えしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の関わりの中で、会話、行動、表情等から希望、意向を把握できるように努めている。ご家族様、職員間の情報も取り入れ「本人本位」に検討している。	8割の方は言葉で思いや意向を表出でき、難しい方の場合も表情や家族からの情報などから把握している。課題分析とセンター方式のアセスメントシートを作り、今後3ヵ月毎の更新を予定している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からの情報を収集している。日々の関わりの中で知り得た情報は職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のできること、支援があればできることを職員間で共有し、現状に適したケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員、他職員、看護師からも意見を出してもらい定期的に話し合い、見直しを行っている。ご家族様からも意見、要望を頂き現状に即した介護計画作成に努めている。	介護計画は3ヵ月毎に見直し作成している。課題分析概要とモニタリング表をもとにカンファレンスで意見を集約している。介護目標に沿ったケース記録の作成を行っているが、利用者の変化や特記事項の記入は少ない。	ケース記録の作成における介護目標の実施状況について、さらに職員間で統一した形の記入が行えるよう、取り組みを期待したい。また、介護目標に関連する利用者の変化や特記事項について文章でも記録することを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、職員間で情報の共有により現状の把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に応じて、ご本人、ご家族様のニーズに対応できるよう考慮し、柔軟な支援できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加したり、地域のボランティアの方に来訪頂き、カラオケ、踊り等交流を通し豊かな生活を楽しむことができるよう支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	かかりつけ医への受診支援を行っている。利用者様、ご家族様の希望に応じ協力医による往診を受ける等適切な医療を受けられるよう支援している。	半分ほどの利用者が提携医療機関による月2回の往診を受診し、専門科目やその他のかかりつけ医は家族または事業所が送迎している。受診内容を個人ごとの「受診経過記録」に記載し、情報を共有している。	

グループホーム みのもり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤にて看護師配置、利用者様の健康管理や医療面での相談、助言を得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は職員が面会に行き、ご本人様の状況の確認を行っている。また、病院側と情報交換、相談を行い関係作りにも努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期における指針を定め、ご家族様への説明、同意を得ている。	利用開始時に「重度化した場合における(看取り)指針」を説明し、同意の署名捺印を得ている。事業所ではまだ看取りを経験していないが、法人内研修で看取り介護について学んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応についてのマニュアルを整備し周知徹底を図っている。看護師によるAEDの使用方法や急変時の対応についての勉強会を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力により定期的に日中、夜間想定の方針訓練を行っている。訓練時には町内会、ご家族様にも参加、ご協力を頂いている。町内会の「災害対策についての説明会」にも参加しており、備蓄品も備えている。	年2回の昼夜を想定した避難訓練を消防や地域の協力を得て行っており、職員の救急救命訓練も計画的に進めている。水や食料等の備蓄品を用意している。地震などへの対応は、災害マニュアルに沿って確認している。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けのタイミング、声の大きさ、周りの状況に配慮し一人ひとりに合わせた言葉掛けや対応に努めている。	年1回は接遇を学び、利用者の意向を確認しながら丁寧に対応している。申し送り時は部屋番号で呼び、個人名が特定されないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が答えやすい、選択できるような声掛けの工夫をし、自己決定できるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに合わせ、その日の体調や気持ちに配慮しながら、希望に添った過ごし方ができるような支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容を利用したり、着たい洋服を選んで頂けるよう支援している。お化粧、髭剃り等自由にその人らしい身だしなみやおしゃれを楽しめるよう支援に努めている。		

グループホーム みのり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食前後のテーブル拭き、後片づけ等それぞれにできることを職員と共にやっている。広告や料理の本等でコミュニケーションを図り、食事を楽しんで頂けるよう工夫している。	誕生日には海老ちらし寿司など、好みの料理とケーキでお祝いしている。行事食にオードブルや出前料理を注文したり、畑の収穫物も活用して味覚祭を楽しんでいる。おやつ作りのレクリエーションに参加して、たこ焼きやホットケーキを職員と一緒に作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を記録し、把握している。一人ひとりの状態に合わせた形態、味付けに工夫し、摂取量を確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりに声掛けし、本人の力に応じた口腔ケアを行い清潔保持に取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握できるよう記録し、トイレでの排泄を基本に考え一人ひとりに必要な支援を行っている。	トイレでの排泄を支援し、夜間も可能な限りトイレに誘導している。半分ほどの方は自力での排泄が可能で、主に布パンツで過ごしている。利用者に合せて排泄を確認し、羞恥心に配慮して介助を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄パターンを把握し、声掛け等により確認、記録している。飲食物の工夫や運動等で個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様の希望、状態に添って行っている。また入浴されていない期間や希望があれば要望に添い支援している。	毎日午後の時間帯に週2回以上の入浴を支援し、入浴を嫌がる方は夜間の8時頃までに入ることもある。1階にある天然温泉を希望する方はユニット間の調整で温泉浴を楽しんでいる。湯船に浸かり気持ちよく入れるように、2人介助も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を把握し、その時々状況に応じて自室で休んで頂けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情をファイルし職員が確認できるように整備している。服薬は職員2名での声出し確認を徹底、更にご本人様に声掛け確認し誤薬防止に努めている。服薬の症状の変化は記録し、職員間で情報把握をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴や力、意欲に合わせ役割や出来ること、楽しみ等張のある日々を過ごせるよう支援をしている。		

グループホーム みのり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(はすかつ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に添って買い物、散歩等戸外に出掛けられるよう支援に努めている。外食、大型ショッピングセンターでの買い物等、車椅子利用者様も一緒に出掛けられるよう車での外出も行っている。	近くの公園や周囲を車椅子使用の方も、毎日のように散歩し、畑づくりや収穫などして外気に触れている。大型店舗で買物や外食をしたり、花見や紅葉見学、港まつりなどでドライブを楽しんでいる。冬季も買い物や受診で外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の際には職員が付き添い、会計を自身で行って頂く等の支援を行っている。一部の方はご本人様、ご家族様と話し合いをし、自己管理されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の希望に応じ、いつでも電話ができるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、リビング、廊下等に既設の移り変わりが感じられる飾り物をしたり、利用者様、職員が作った作品を飾る等明るく、居心地の良い雰囲気作りに配慮している。	共用空間は全体的に広々としており、整理整頓されていて清潔感がある。居間の窓は大きく、ソファやテーブルの配置を工夫している。3カ所のトイレは車椅子使用でも十分な広さがあり、洗面所も使い易い造りになっている。壁には春らしい色紙細工などの作品が品よく飾ってあり、落ち着いた雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置に工夫し、くつろげる環境作りに配慮している。気の合った者同士が談話したり、思い思いに過ごせる居場所作りを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内家具等は使い慣れた物、好みの物を持参して頂けるようご家族様と相談しながら、ご本人が安心し、居心地良く過ごせる環境作りに配慮している。	室内には馴染みの家具類や鏡台、時計、机などが持ち込まれている。座布団に座って作業をする、ラジオやテレビを楽しむ、本を読むなど普段の暮らしが感じられる居室もある。本人による木彫や油絵の作品、家族の写真などを飾り、その人らしい居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、居室等場所の目印となる札を付けている。エレベーターの設置、トイレ、廊下、浴室に手摺りを設置、安全に、できるだけ自立した生活ができるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0193600194		
法人名	株式会社アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり新中野 ななかまど館		
所在地	苫小牧市新中野町1丁目3番20号		
自己評価作成日	平成28年3月10日	評価結果市町村受理日	平成28年4月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigrosyoCd=0193600194-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様と職員の会話も多く、「笑顔の絶えない明るく家庭的なホーム」作りを心掛けている。併設した小規模多機能居宅介護との交流、季節ごとの行事、近隣公園への散歩、買い物、外食、地域のお祭りへの参加等利用者様の希望に添った支援ができるよう、ご家族様、ボランティア地域の方々の協力を頂き毎日元気に笑顔のある生活を送ることができるよう努力している。運営推進会議も小規模多機能事業所と合同で実施しているため、単体で行うより活発な意見交換が行われている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	本社での入社時、3ヶ月、1年、2年研修で周知され、理念は事務所に掲示、ユニット会議でも理念実現に近づけるよう話し合い、日々努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域のお祭り等に参加している。町内会からもホームのお祭りや防災訓練等に協力頂き、交流に努めている。		
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等でホームとしての取り組みの状況や日常の様子を報告している。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、ホームの取り組みに関する報告や意見交換を行い、サービスの向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には介護福祉課職員に出席頂いている。ホームの活動状況等の報告を行うと共に、必要時の助言を頂き協力関係を築いている。制度的な部分でも行政の立場から詳しい説明をもらっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間での勉強会を実施、全職員が意識してケアに取り組んでいるが、外部の研修にも積極的に参加していきたい。		
7	7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間での勉強会を実施、「不適切なケア」に対する意識が希薄にならないよう努めているが、外部研修にも積極的に参加していきたい。		

グループホーム みのもり新中野

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について、必要性のある利用者様へアドバイスができるよう勉強会等を取り入れ理解を深めるよう努めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には利用契約書、重要事項説明書を読み上げ、十分に説明し理解、納得を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置、契約時には外部相談機関の説明を行うと共に、面会時、電話にてご家族様の要望をお聞きし、意見を反映させていけるよう努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	連絡ノートの活用、毎月のユニット会議で意見交換を行っている。年に2回管理者と職員の面談を実施、意見、提案を聞く機会を設けている。各事業所からの意見は本社会議にて吸い上げている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護職員処遇改善加算Ⅰの算定をしており適切に賃金改善に当てている。職員の勤務状況、努力や実績を把握し、向上心を持って働けるよう支援している。資格取得支援制度を設けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での管理者、役職者研修、定期的なスタッフ研修の他、資格取得支援制度も設けている。また法人外での研修通知を回覧し研修を受ける機会の確保、自主希望による受講を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームで作られている「グループホーム連絡会」を通じ同業者と交流する機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居面談の際の情報収集、センター方式の記載をご家族様にお願いし、その情報を基に生活歴の把握の努め、利用者様の要望をケアに反映できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始までの間にそれまでの経緯や不安、要望について話を聴く機会を設け、話しやすい関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に十分に本人、ご家族の意向を確認し、適切な支援を提供できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と職員が共に楽しみながら、ご本人様のやりたいこと、できることを見つけていくよう努め、関係作りをしている。家事などの役割も一緒に行えるように務めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時にはご本人の近況をお伝えし、特変があった際には電話連絡する等、常にご家族様とコミュニケーションを取るよう機会を設ける心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の友人、知人が気軽に訪ねられようご家族様にもご協力頂き支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操、レクリエーション等全員が参加できる様声掛けし、職員が利用者間の仲立ちを行いながら皆で楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談、協力の意思をご家族様へお伝えしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	月1度のユニット会議で入居者様のニーズ、行動や発した言葉をアセスメントし意向の反映に努めている。すぐに実行できることは即座に対応できるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人ファイルやご家族様にセンター方式の記入をお願いするなど情報を頂き、細かな情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活歴や性格等の事前情報を元にしながら、現在の生活状況、心身状況等を的確に把握できるように記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々入居者様やご家族様と情報交換、コミュニケーションを図り、月1度の会議で課題と対策を検討し介護計画として立案している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご本人の言動や介護計画に沿った支援を記録しプランの実践、評価に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に応じて、ご本人、ご家族様のニーズに対応できるよう都度支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様が安全、安心した暮らしを楽しむことができるよう、買い物、外食等の機会にも事故等が起きないよう職員がしっかり付き添っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診支援を行っている。利用者様、ご家族様の希望に応じ協力医による往診を受ける等適切な医療を受けられるよう支援している。		

グループホーム みのり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤にて看護師配置、必要時相談、助言を得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は職員が面会に行く等し、ご本人様の状況の確認を行っている。病院、ご家族と情報交換、相談を行いながら関係作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期における指針を定め、ご家族様への説明、同意を得ている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応についてのマニュアルを整備し周知徹底を図っている。また会議にて看護師による急変時の対応についての勉強会を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力により年2回、日中、夜間想定防災訓練を行っている。訓練時には町内会、ご家族様にも参加、ご協力を頂いている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ時の誘導や声掛けには特に注意し、入居者様のプライバシーや羞恥心へ配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択できるような声掛けや、準備をして入居者様の希望に添えるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの思いやペースを把握し、それぞれの希望に応じた生活ができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服選びや整容等個々人の希望に添えるよう支援している。		

グループホーム みのり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食後にお盆拭きを手伝って頂いたり、食事作りを行い一緒に準備している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は個々人に合わせた量を提供し、形態も刻みやトロミ等、個々人に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施。自身でできない方には職員の支援にて口腔内の清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	記録の排泄チェック表に記載、排泄パターンを把握したうえで、個々人に合わせた排泄支援を実施している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用、個々人に合わせた排泄支援を実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	午後からの入浴となっているが、できるだけ利用者の希望、状態に添って行っている。また入浴されていない期間や希望があれば要望に添い支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々人の身体状況に合わせ、ベッドで臥床して頂く時間や、ソファでくつろいで頂く等行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用は個別に薬情ファイルに保管、全職員に周知している。服薬時には飲みこぼしがないよう職員が見守りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴や力、意欲に合わせ役割や出来ること、楽しみ等張のある日々を過ごせるよう支援をしている。お酒の提供など。		

グループホーム みのり新中野

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ななかまど館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望に添って散歩や買い物等に出掛けられるよう支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭はホーム預かりだが、買い物の際には職員が付き添い、会計を自身で行って頂く等の支援を行っている。管理が出来そうな方はご家族と相談し、数千円単位で持っている方もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の希望に応じ、いつでも電話ができるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様や職員の作品を飾る等明るい雰囲気配慮している。季節感を取り入れる等の工夫もしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	新聞を読んだり、趣味を楽しんだり気の合った利用者様同士で談笑できるよう席の配置を工夫、くつろげる環境作りに配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の写真や仏壇を含め、馴染みのものや使い慣れたものを持ってきて頂き、ご本人様が安心して居心地よく過ごすことができるよう配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子や歩行器を使用しての移動もできるよう十分なスペースが確保されている。リビングや廊下の歩行スペースには極力物を置かないよう配慮している。		

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所名 グループホーム みのり新中野

作成日：平成 28年 4月 15日

市町村受理日：平成 28年 4月 21日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	介護計画に沿ったケース記録の作成を行っているが、利用者の変化や特記事項の記入は少ない。	介護計画に沿った記録が出来るよう努め、介護計画更新時にそれらの記録を生かせるようにする。	介護計画に沿った内容で介護記録が記載できるよう努め、変化や特記事項が次回の介護計画更新時に生かせるようにしていく。	3ヶ月
2	2	子供たちとの交流が図れていない。	地域の幼稚園や保育所、小学校などと交流する機会を設ける。	幼稚園や保育所、小学校の行事見学をさせて頂くなどの機会を通し、交流を図っていく。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。